

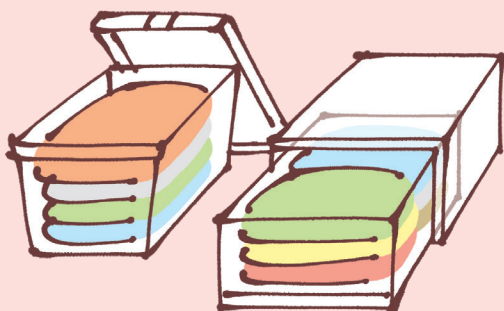
＼ Question ！

春の衣替えで、冬物をしまう時に気をつけるべきことはどんなことですか？

Answer

気温が暖かくなってくると厚手のジャケットやニットなどの冬物から、春物の軽い衣類に衣替えをします。冬物の収納時に気をつけたい下記ポイントを参照し、取り組んでみましょう。

春の衣替えに適したタイミングは？



春の衣替えは6月という地域が多いようですが、暖かくなってきたからといって、服を冬物から春物へ一気に変えてしまうと、寒い日の対応に困ってしまいます。衣替えは一度に済ませるのではなく、3月頃から徐々に進めることをおすすめします。

4月

冬物の大半をしまう時期

冬物の大半をしまう時期です。取り出せるようにキープしていた冬物アイテムやマフラーなどの小物を収納するようにしましょう。

5月

着なくなった衣類の処分も

本格的な衣替えを行うとともに、もう着なくなった衣類の処分も考えてはいかがでしょうか。クローゼットやダンスの中がスッキリと片付いて気持ちが良いものです。

また、クローゼットはカビ防止のために空気の入替えをして、収納ケースは一度中身を空にして、きれいに拭いてから服を収納するようにしましょう。

収納のポイント

湿気は下にたまりやすいので、ウールや絹、カシミアなどデリケートな衣類は上段、綿や麻など比較的湿気に強いものは下段、そのほかは中段に収めます。防虫成分も空気よりも重いので、防虫剤は衣類の上へ置きましょう。

参考記事：衣替えはいつ？春の衣替えに、収納テクニックと衣類のお手入れ方法
<https://mamari.jp/23018>
 衣替えをスムーズにする収納のコツと注意点
http://keep-it.jp/media/article/seasonal_change_of_clothes_storage/
 冬物収納術 <https://shop.menz-style.com/college/detail?id=1483>

衣替えに向けたクリーニングと防虫剤の注意点

●クリーニング

クリーニングから持ち帰った服は、ビニールカバーなどをすぐに外し、通気性の良い場所で保管することがポイントです。ホコリなどが着かないようにカバーをしたい方は、通気性の良い布製のカバーなどを使用してください。

●防虫剤

プラスチックの収納ケースに防虫剤を入れる場合は、必ず衣類の上に置いてください。特に、シルクやウールなどの素材は、しっかり虫食い予防をしておくことが大切です。ハンガーへの収納の場合は、衣類全体に防虫成分がいきわたるように均等に吊してください。



代表的な冬物衣類の収納方法は？

●コートやダウン・中綿ジャケット

コートはできる限りハンガーにかけて収納してください。ダウンや中綿ジャケットは、湿気を取り除くため風通しの良いところで乾かしてから収納しましょう。

●ニット・セーター

ニット・セーターはハンガーにかけると肩にハンガーの跡がついてしまうことや、衣類の重みで生地が伸びてしまうのでたたんで収納することがおすすめです。セーターを裏返しに平置きにして、両腕部分を収納スペースの幅に合わせて内側に折り、収納しましょう。

●カーディガン

ボタンをかけたままだと、収納中にボタンホールが広がってしまう可能性があるため、ボタンをすべて外して平置きにします。収納スペースの幅に合わせて両腕を内側に折りたたみ、身柄部分も収納スペースに合わせるようにして折り、収納します。